

静岡県月例経済報告

(令和2年7月号)

……令和2年5月を中心とした県内経済のすがた……

No. 531

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年5月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年5月を中心とした静岡県の景気は、大幅に悪化している。

先行きについては、経済活動の再開が徐々に進むにつれて、持ち直しの動きが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の影響から、当面は、厳しい状況が続くと見込まれる。

雇用情勢は、厳しさがみられる。

- ・ 個人消費は、減少している。
- ・ 設備投資は、弱い動きとなっている。
- ・ 輸出は、大幅に減少している。
- ・ 生産は、大幅に減少している。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、減少している」

大型小売店販売額(5月)は、スーパーが4か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が8か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(5月)は、コンビニエンスストアが3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が3か月ぶり、ドラッグストアが7か月連続、ホームセンターが4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(5月)は、乗用車、軽自動車がいずれも8か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも8か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(5月)は、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(5月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、弱い動きとなっている」

日銀短観(6月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(5月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、大幅に減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（5月）は、科学光学機器が12か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも4か月連続、エアコンが9か月連続、自動車が2か月連続、二輪自動車類が5か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（5月）は、魚介類及び同調製品が10か月連続、木材が3か月連続、パルプが8か月連続、紙類及び同製品が2か月連続、原動機が3か月ぶり、自動車の部分品が14か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも13か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、269億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、大幅に減少している」

鉱工業生産指数（5月）は、はん用・生産用・業務用機械が7か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも10か月連続、輸送機械が16か月連続、化学が4か月連続、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも12か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は4か月連続で低下した。

なお、鉱工業在庫指数（5月）は、総合では3か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、厳しさがみられる」

有効求人倍率（5月）は1.06倍で、前月を0.11ポイント下回った。また、68か月ぶりに1.0倍台となった。なお、14か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（5月）は、9か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（4月）は、15か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（5月）は、前年同月比 5.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（5月）は、前年同月比 1345.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（6月）は、件数は32件（前年同月比 128.5%増）と、前年実績を上回り、負債総額は23億9,800万円（同 24.8%減）と、前年実績を下回った。

<トピックス> 「買って繋がる“ふじのくに” バイ・シズオカ」

買って繋がる“ふじのくに”
バイ・シズオカ
 Buy Shizuoka! 静岡県



がんばろう! 静岡

静岡県から全国へ。おいしい笑顔をお届けよう。

「バイ・シズオカ」は、県産品を買ったり、県内のお店や施設に出向いたりすることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた生産者や事業者の皆さまを応援する取り組みです。魅力たっぷりの県産品を買って(BUY)、寄り添う(BY)「バイ・シズオカ」へご参加ください。



静岡県知事 川勝平太

個人のみなさま

- ご自身、ご家族へのプレゼントとして…
- 贈答品 ●慶事 など



県産品を買って、
 静岡県を元気にする、
 通販サイト
 OPEN!!

法人のみなさま

- 社員の皆さまへの福利厚生として…
- CSRの一環として… など



ごんなの
あるんだ! **47CLUB**
 全国の地方新聞社 お取り寄せサイト

楽天市場内
 ふじのくに おいしい静岡
おいしず
 ここできか手に入らない静岡名品

うまいもん ドットコム
 こだわり食品のインターネット通販サイト

第1期の夏(8月末迄) 只今、お得な特典&クーポンプレゼント!

今なら **20%OFF** 割引クーポン券
 プレゼント! さらに **3,000円^(税込)以上購入で**
送料無料!

詳しくは各モールの特集ページをご覧ください。今なら購入時に使える20%OFFクーポン：クーポン利用時の割引上限金額はありません。本クーポンは何度でも使用することができますが、都度クーポンコードの入力をお願いいたします。3,000円以上購入で送料無料：複数の商品の合計金額が3,000円(税込)以上で使用可能です。商品購入前の金額が3,000円(税込)以上で使用可能です20%OFF割引のクーポンと併用可能です。離島など別途送料が必要となる場合もございます。3,000円(税込)未満の場合、送料はご負担ください。3,000円(税込)以上のお買い上げでも送り先が複数ある場合、条件によっては送料がかかる場合もございます。クーポンの配布状況により、キャンペーン期間の途中で割引サービス等を予告なく終了する場合があります。第2期(9月以降)の特典は今後調整、決定いたします。

twitterもやってます。みなさんも「#バイシズオカ」でつぶやこう!

県産品を買って、静岡県を元気にする、応援サイト

<https://buyshizuoka.com>



ご連絡・お問い合わせ (株)SBSプロモーション内バイ・シズオカ「がんばろう!静岡」運営事務局
 メールアドレス: buyshizuokaoffice@sbs-promotion.co.jp 電話: 054-288-8151 [担当/森・神保・杉山]

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

5月 = 34,484百万円

*前年同月比： 4.8%減

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

5月の大型小売店販売額は34,484百万円で、前年同月比 4.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 5.0%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同 50.5%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 5.8%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 41.5%減）、身の回り品（同 44.0%減）、家庭用品（同 13.3%減）がいずれも8か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.8%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
販売額(百万円)	31,310	33,275	41,861	33,831	30,869	35,437	31,454	34,484
前年同月比(%)	▲7.5	▲1.9	▲3.9	▲2.6	3.2	▲5.9	▲11.9	▲4.8
うち百貨店(%)	▲20.5	▲6.5	▲7.2	▲5.8	▲5.5	▲28.9	▲64.2	▲50.5
スーパー(%)	▲4.5	▲0.7	▲2.9	▲1.8	5.3	0.1	0.3	5.0
(参考1)全国前年同月比(%)	▲8.2	▲1.8	▲3.0	▲1.4	0.2	▲10.1	▲22.1	▲16.7
うち百貨店(%)	▲16.4	▲4.8	▲3.7	▲1.8	▲10.5	▲31.9	▲71.1	▲63.6
スーパー(%)	▲4.3	▲0.2	▲2.6	▲1.3	5.3	1.3	0.9	4.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲6.3	▲1.0	▲2.9	▲1.3	4.5	▲4.9	▲8.8	▲1.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
衣料品	▲16.8	▲3.2	▲8.4	▲7.0	▲3.7	▲32.8	▲63.8	▲41.5
うち紳士服・洋品	▲14.3	▲0.1	▲9.8	▲7.5	▲3.7	▲29.1	▲60.8	▲32.4
婦人・子供服・洋品	▲17.4	▲4.5	▲7.8	▲6.8	▲3.4	▲34.4	▲65.9	▲45.5
身の回り品	▲23.6	▲9.8	▲12.5	▲5.3	▲6.0	▲27.7	▲57.8	▲44.0
飲食料品	▲2.7	▲0.4	▲1.0	▲0.9	5.1	2.5	2.5	5.8
家庭用品	▲14.6	▲2.0	▲9.9	▲4.0	▲0.7	▲15.5	▲23.9	▲13.3
うち家庭用電気機械器具	▲16.0	▲8.6	▲16.5	▲9.0	▲2.2	▲25.8	▲26.1	▲12.3

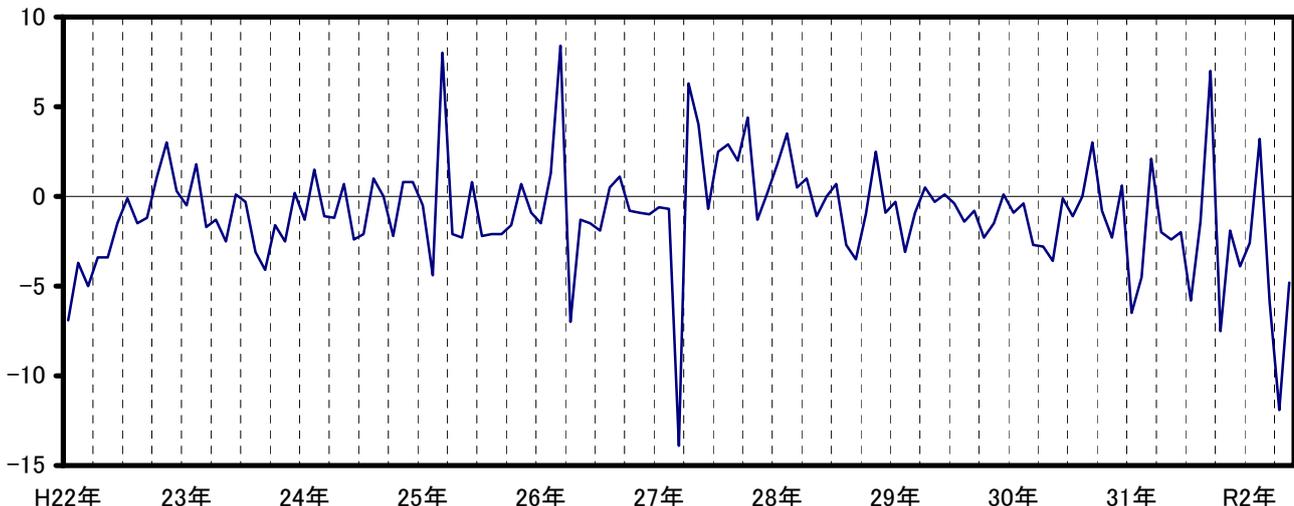
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

5月 = 72,520百万円

*前年同月比： 2.7%増

(県内89家電大型専門店、1,678コンビニエンスストア、510ドラッグストア、110ホームセンター合計)

<概況>

5月の専門量販店等販売額は72,520百万円で、前年同月比 2.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 9.0%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 11.5%増）が3か月ぶり、ドラッグストア（同 8.9%増）が7か月連続、ホームセンター（同 18.5%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
販売額（百万円）	65,726	66,472	77,821	67,663	67,080	71,656	69,253	72,520
前年同月比（%）	▲ 1.9	1.8	▲ 0.4	0.7	9.4	▲ 0.4	0.6	2.7
うち 家電大型専門店（%）	▲ 15.9	▲ 6.9	▲ 11.6	▲ 3.7	3.1	▲ 8.0	▲ 3.7	11.5
コンビニエンスストア（%）	2.3	2.1	▲ 0.3	0.5	3.5	▲ 5.5	▲ 9.3	▲ 9.0
ドラッグストア（%）	▲ 3.8	2.7	3.2	4.3	18.7	7.6	11.6	8.9
ホームセンター（%）	▲ 9.3	▲ 4.1	▲ 5.4	▲ 3.7	10.6	5.1	8.5	18.5
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.0	1.2	▲ 1.1	2.1	8.5	▲ 1.9	▲ 2.9	0.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

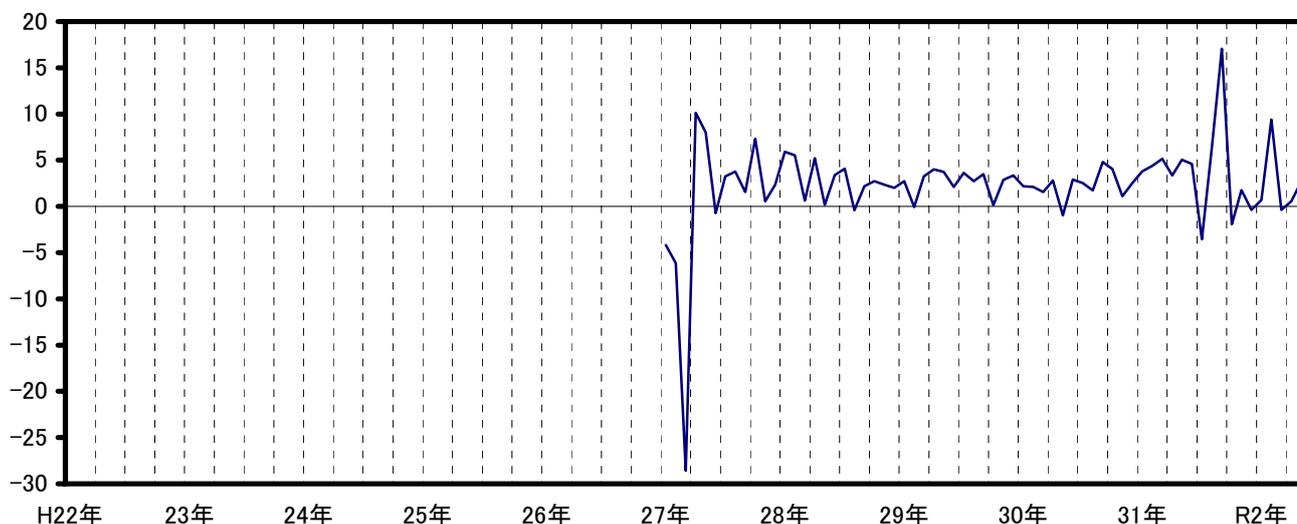
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

5月 = 7,392台

*前年同月比：45.1%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

5月の自動車(新車)新規登録台数は7,392台(前年同月比45.1%減)と、8か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比42.1%減)、軽自動車(同48.5%減)がいずれも8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
登録台数(台)	10,962	12,913	11,882	13,792	15,947	20,352	9,339	7,392
前年同月比(%)	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0	▲45.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲25.1	▲11.6	▲11.1	▲12.1	▲9.8	▲8.9	▲30.4	▲46.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

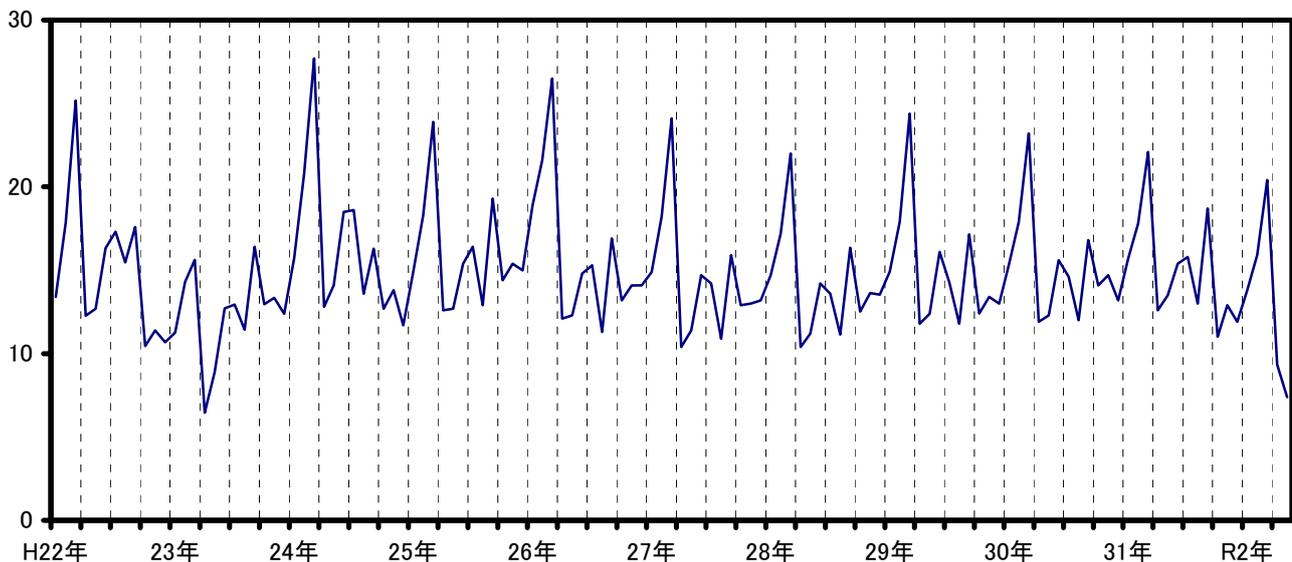
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
全乗用車	▲22.2	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0	▲45.1
乗用車	▲28.1	▲18.3	▲8.3	▲16.9	▲13.2	▲11.4	▲25.7	▲42.1
軽自動車	▲15.1	▲4.5	▲12.2	▲6.2	▲6.7	▲4.0	▲26.3	▲48.5

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

5月 = 1,541 戸

*前年同月比： 27.0%減

<概況>

5月の新設住宅着工戸数は1,541戸で、前年同月比 27.0%減と、5か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 18.2%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（同 40.1%減）が2か月連続、分譲住宅（同 46.2%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

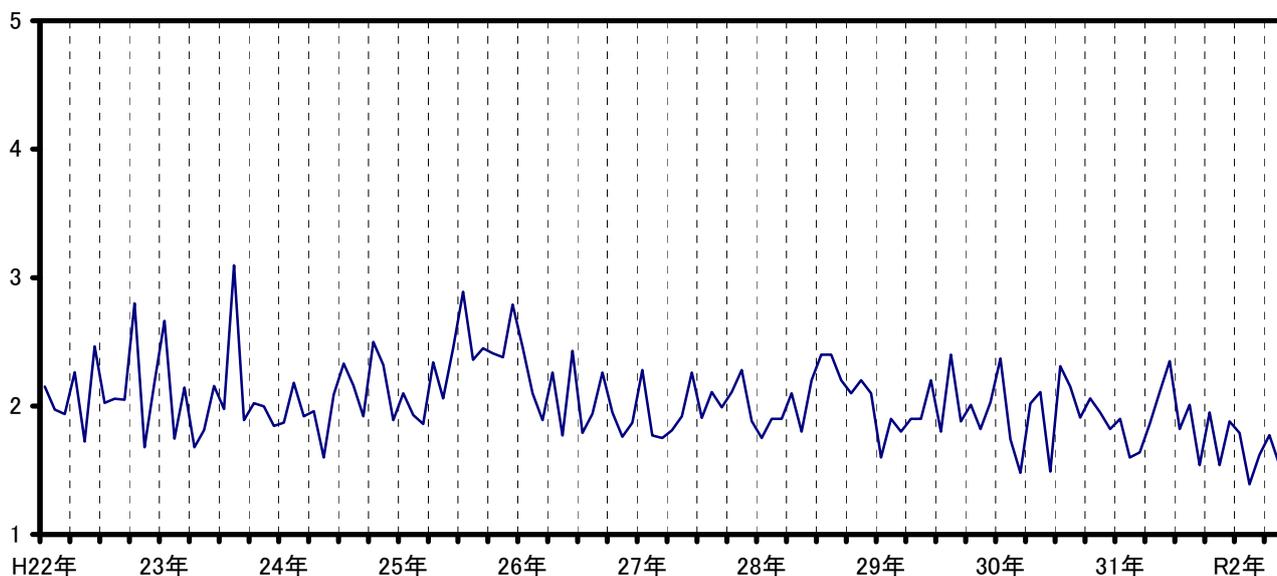
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
戸数（戸）	1,951	1,539	1,882	1,792	1,391	1,624	1,774	1,541
前年同月比（%）	▲ 5.2	▲ 21.1	3.3	▲ 5.5	▲ 13.2	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 27.0
うち持家（%）	▲ 3.3	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.5	▲ 18.9	5.8	▲ 8.1	▲ 40.1
貸家（%）	▲ 25.3	▲ 46.8	20.0	▲ 10.5	▲ 21.4	▲ 6.6	15.1	18.2
分譲住宅（%）	30.4	▲ 11.7	2.7	2.7	21.8	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 46.2
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 7.4	▲ 12.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 12.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

5月 = 51,996百万円

*前年同月比：59.9%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

5月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は51,996百万円で、前年同月比59.9%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は494件で、前年同月比13.8%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
金額(百万円)	33,436	17,066	15,352	14,407	13,907	21,165	68,572	51,996
前年同月比(%)	40.2	15.1	▲31.2	52.8	29.9	46.0	▲15.9	59.9
年度累計前年同月比(%)	32.4	31.4	26.5	27.3	27.4	28.3	▲15.9	5.7
件数(件)	931	675	545	385	297	378	664	494
前年同月比(%)	26.2	▲2.2	▲24.2	22.2	78.9	41.0	18.8	▲13.8
年度累計前年同月比(%)	▲1.1	▲1.2	▲3.6	▲2.4	▲0.6	0.8	18.8	2.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

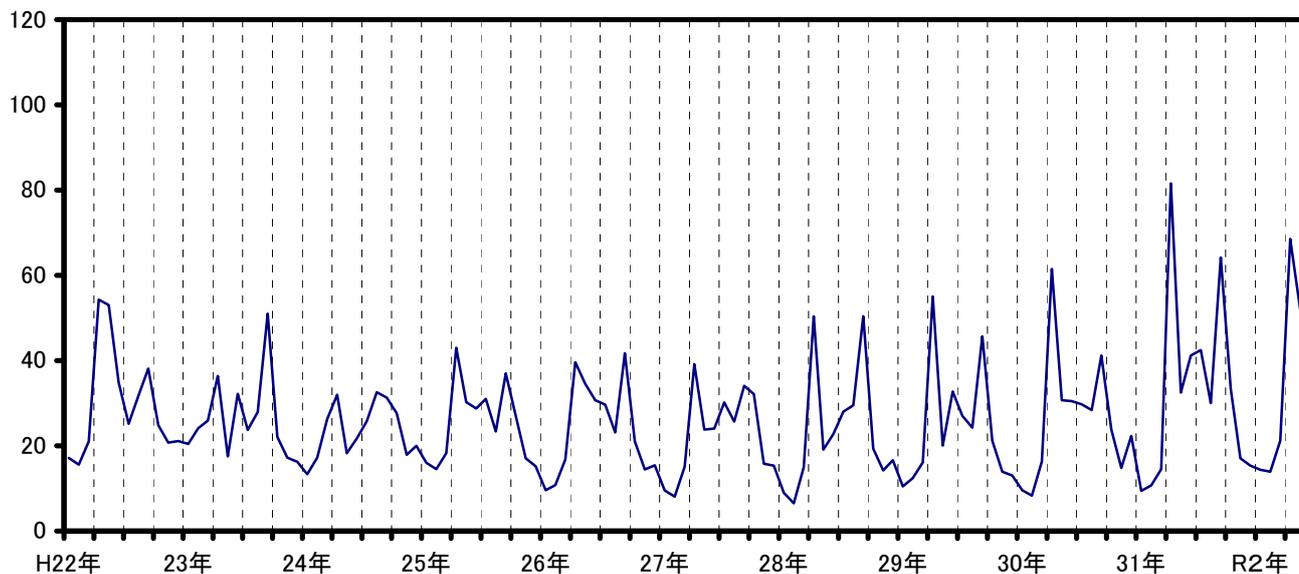
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
国	194.5	30.5	▲28.7	24.4	79.8	58.9	▲40.4	56.2
独立行政法人等	▲79.6	66.2	53.0	271.0	9.4	▲86.6	▲61.1	317.0
県	142.7	83.1	▲32.8	66.0	48.6	191.3	64.1	8.8
市町	4.7	▲2.1	▲44.6	27.8	51.2	22.8	7.6	▲19.9
地方公社	308.0	▲9.7	▲82.4	1,713.8	-	-	▲85.8	-
その他	91.5	▲73.6	▲71.1	329.2	▲89.7	▲93.0	▲65.2	247.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 11.1%減）、非製造業（同 2.2%減）、全産業（同 6.8%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 3.7%減）、非製造業（同 1.6%減）、全産業（同 3.1%減）においていずれも減少する計画となっている。

5月の着工建築物床面積（非居住用）は114,434㎡で、前年同月比 23.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲1.5) 5.2	(▲13.3) ▲6.8
	全国	(▲3.2) ▲0.6	(▲3.6) ▲0.8
製造業	県	(▲2.7) 9.4	(▲21.5) ▲11.1
	全国	(▲3.0) 0.9	(▲2.3) 3.1
非製造業	県	(▲0.3) 1.0	(▲3.5) ▲2.2
	全国	(▲3.4) ▲1.5	(▲4.5) ▲3.1

（ ）内は前回調査比修正率)

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲3.2) 1.4	(▲9.9) ▲3.1
	全国	(▲2.5) 1.6	(▲2.7) 0.9
製造業	県	(▲4.6) 0.7	(▲12.4) ▲3.7
	全国	(▲1.6) 1.7	(▲1.4) 2.8
非製造業	県	(0.9) 3.0	(▲3.1) ▲1.6
	全国	(▲3.4) 1.5	(▲4.2) ▲1.0

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年6月調査)」

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	189,974	118,282	131,035	65,693	68,069	88,664	88,441	114,434
前年同月比（%）	64.0	35.4	▲38.2	▲4.1	▲55.5	15.5	▲35.3	▲23.5
(参考) 全国前年同月比（%）	▲14.8	▲9.7	▲2.5	▲25.1	▲2.6	11.5	▲9.1	▲2.6

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年3月	R2年6月	R2年9月 (予測)
全産業	全産業	▲10	▲44	▲39
	製造業	▲19	▲56	▲48
	非製造業	▲3	▲31	▲31
(参考) 全国・全産業		▲4	▲31	▲34

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年6月調査)」

5 輸出

5月 = 102,775百万円

*前年同月比： 32.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸出総額は102,775百万円で、前年同月比 32.6%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、科学光学機器（前年同月比 43.3%増）が12か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 58.9%減）、自動車の部分品（同 47.5%減）がいずれも4か月連続、エアコン（同 56.7%減）が9か月連続、自動車（同 74.5%減）が2か月連続、二輪自動車類（同 65.8%減）が5か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 13.5%減）が3か月連続、米国向け（同 40.5%減）が10か月連続、EU向け（同 51.3%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
輸出総額(百万円)	187,463	176,427	186,921	154,849	177,796	181,032	147,563	102,775
前年同月比(%)	0.4	▲2.0	▲11.5	2.6	▲1.5	▲10.3	▲13.3	▲32.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
原動機	▲11.5	▲13.3	▲18.5	4.9	▲13.4	▲14.7	▲37.1	▲58.9
エアコン	▲0.8	▲30.0	▲38.4	▲6.1	▲27.7	▲20.6	▲33.7	▲56.7
自動車	▲10.9	12.8	14.5	▲21.1	25.1	15.1	▲64.3	▲74.5
自動車の部分品	▲16.2	▲10.2	▲16.5	2.2	▲11.4	▲25.8	▲16.9	▲47.5
二輪自動車類	37.1	13.3	7.0	▲12.2	▲8.6	▲6.5	▲25.3	▲65.8
科学光学機器	31.1	8.8	20.3	52.4	42.0	19.8	7.3	43.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
アジア	0.2	▲3.7	▲6.4	8.0	2.4	▲14.2	▲1.2	▲13.5
米国	▲10.9	▲7.5	▲15.2	▲4.9	▲5.5	▲10.2	▲23.3	▲40.5
EU	22.2	11.8	▲14.9	▲0.3	▲4.3	▲11.3	▲27.4	▲51.3

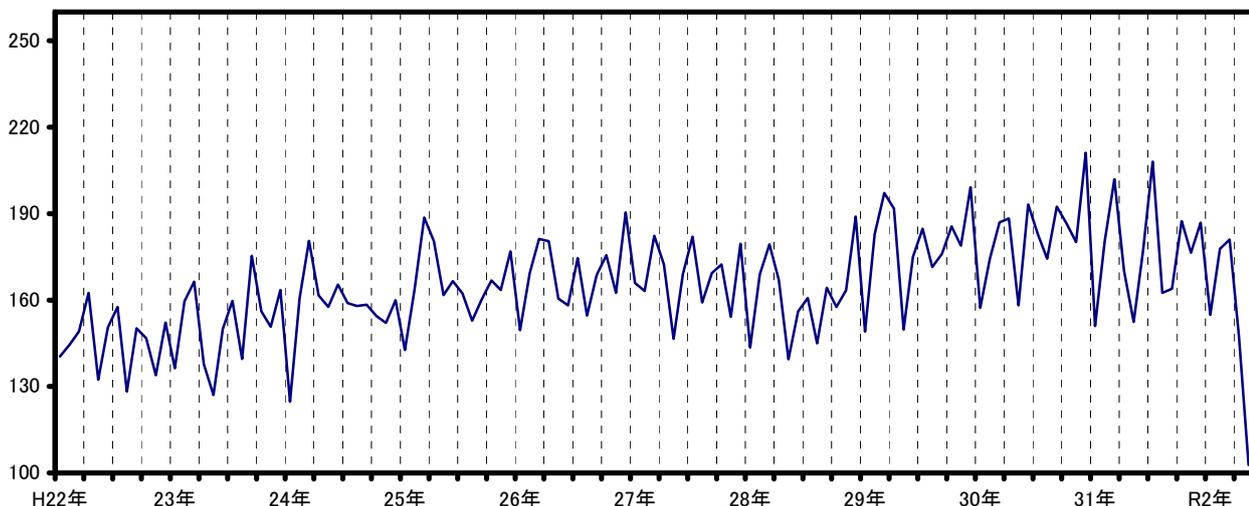
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

5月 = 75,896百万円

*前年同月比： 20.9%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

5月の清水税関支署管内の輸入総額は75,896百万円で、前年同月比 20.9%減となり、13か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 21.8%減）が10か月連続、木材（同 43.3%減）が3か月連続、パルプ（同 45.9%減）が8か月連続、紙類及び同製品（同 28.0%減）が2か月連続、原動機（同 41.5%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 63.4%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（前年同月比 36.8%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 29.7%減）が2か月連続、EUから（同 33.0%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
輸入総額(百万円)	86,696	91,217	80,725	90,845	66,626	89,323	87,623	75,896
前年同月比(%)	▲17.4	▲6.0	▲20.0	▲13.0	▲14.0	▲1.7	▲13.4	▲20.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
魚介類及び同調製品	▲18.3	▲10.8	▲32.6	▲28.9	▲17.0	▲5.1	▲18.6	▲21.8
木材	▲14.5	11.4	2.4	▲13.9	6.4	▲27.9	▲17.4	▲43.3
パルプ	▲43.8	▲33.9	▲15.6	▲50.3	▲15.5	▲19.7	▲27.1	▲45.9
紙類及び同製品	9.8	▲14.5	15.2	▲7.9	54.2	8.5	▲8.1	▲28.0
原動機	1.0	▲15.4	▲15.5	▲20.5	▲29.0	44.1	4.6	▲41.5
自動車の部分品	▲42.5	▲40.3	▲34.6	▲9.9	▲41.2	▲5.0	▲32.0	▲63.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

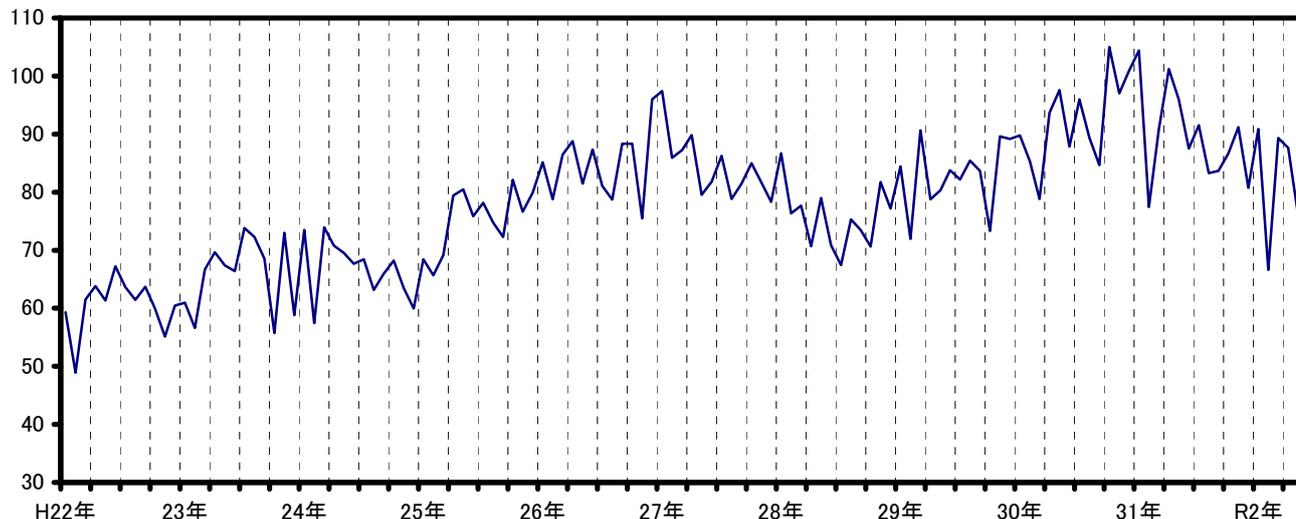
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
アジア	▲10.8	▲10.1	▲14.4	3.7	▲26.9	7.1	▲15.2	▲29.7
米国	▲3.2	▲8.2	▲10.7	▲12.5	▲15.4	3.1	33.7	36.8
EU	▲37.4	▲27.1	▲32.9	▲40.9	▲18.6	▲18.3	▲18.9	▲33.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

5 月 = 70.2

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 7.5%減

*前年同月比(原指数) : 34.5%減

<概 況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は70.2(季節調整済指数)で、前月比7.5%減と、4か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は34.5%減と、12か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比26.6%減)が7か月連続、電気機械(同32.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(同7.9%減)がいずれも10か月連続、輸送機械(同55.6%減)が16か月連続、化学(同11.9%減)が4か月連続、食料品・たばこ(同31.1%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
指 数	99.7	102.3	98.9	100.8	98.6	95.4	75.9	70.2
前 月 比 (%)	▲ 0.5	2.6	▲ 3.3	1.9	▲ 2.2	▲ 3.2	▲ 20.4	▲ 7.5
前 年 同 月 比 (%)	▲ 7.1	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 5.7	▲ 27.0	▲ 34.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 7.7	▲ 8.1	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 15.0	▲ 25.9

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.8	▲ 0.5	▲ 4.5	▲ 7.6	▲ 15.3	▲ 9.1	▲ 31.2	▲ 26.6
電 気 機 械 工 業	▲ 11.4	▲ 4.7	▲ 8.3	▲ 16.0	▲ 21.8	▲ 8.1	▲ 22.5	▲ 32.7
輸 送 機 械 工 業	▲ 10.3	▲ 6.6	▲ 8.5	▲ 5.7	▲ 6.2	▲ 5.8	▲ 53.7	▲ 55.6
化 学 工 業	▲ 0.9	▲ 7.7	3.0	3.0	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 7.4	▲ 11.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 8.6	▲ 9.4	▲ 4.2	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 6.4	▲ 4.4	▲ 7.9
食料品・たばこ工業	▲ 6.4	0.4	▲ 3.4	2.8	3.2	▲ 1.4	▲ 5.3	▲ 31.1

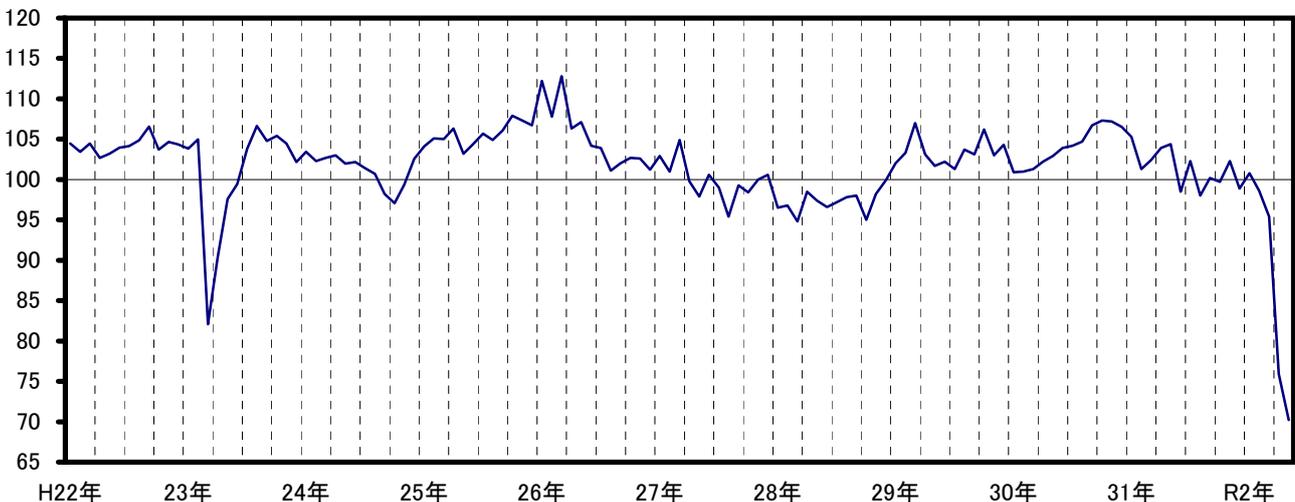
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

5月 = 110.8

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.7%増

*前年同月比(原指数) : 4.8%増

<概況>

5月の鋳工業在庫指数(総合)は110.8(季節調整済指数)で、前月比は0.7%増と、3か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.8%増と、3か月ぶりに前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、電気機械(前年同月比4.9%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.6%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同16.8%増)が17か月連続、輸送機械(同10.6%増)が3か月ぶり、化学(同21.9%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同7.1%増)が15か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
指数	107.6	109.0	113.8	114.7	108.0	109.6	110.0	110.8
前月比(%)	2.2	1.3	4.4	0.8	▲5.8	1.5	0.4	0.7
前年同月比(%)	▲3.2	▲0.8	▲0.4	4.8	1.3	▲2.6	▲0.4	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	1.5	1.3	3.8	1.4	2.9	2.7	▲0.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	24.9	33.4	29.6	31.3	31.0	31.3	21.9	16.8
電気機械工業	2.6	2.4	3.7	▲0.4	▲11.7	▲9.7	▲8.7	▲4.9
輸送機械工業	▲18.7	▲27.3	▲19.3	6.8	32.5	▲5.9	▲27.1	10.6
化学工業	▲8.8	4.9	▲3.6	6.8	▲10.9	▲2.0	6.9	21.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.6	0.3	8.8	10.5	6.9	▲6.9	▲8.3	▲0.6
食料品・たばこ工業	6.6	5.0	20.2	6.0	11.8	3.4	13.4	7.1

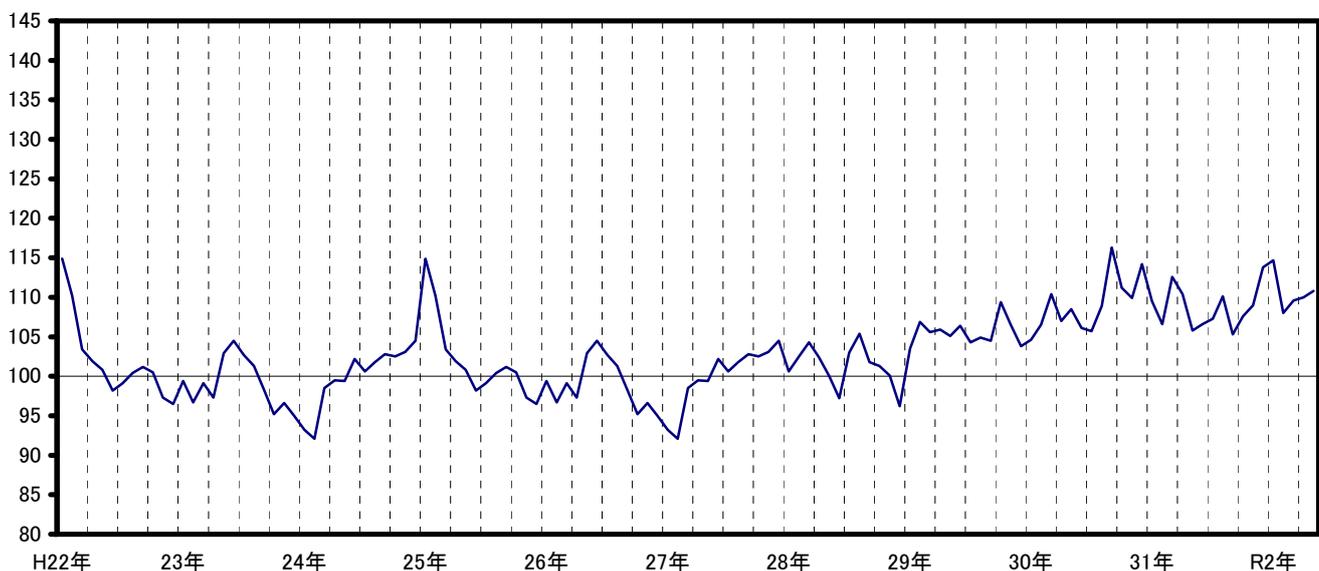
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

5 月 = 1.06倍

*前月比 (季節調整値) : 0.11ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

5月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.06倍となり、前月を0.11ポイント下回った。また、14か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 32.9%減)は21か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比 0.5%減)、運輸業・郵便業(同 15.8%減)、卸売業・小売業(同 35.7%減)がいずれも5か月連続、製造業(同 43.6%減)が18か月連続、情報通信業(同 29.6%減)が4か月連続、医療・福祉(同 27.7%減)が7か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同 52.1%減)が13か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
県	1.51	1.47	1.47	1.38	1.27	1.22	1.17	1.06
全 国	1.58	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
建 設 業	0.0	▲ 7.0	2.0	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 0.5
製 造 業	▲ 20.7	▲ 26.3	▲ 16.2	▲ 26.2	▲ 28.1	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 43.6
情 報 通 信 業	▲ 13.7	13.2	▲ 37.7	2.5	▲ 29.4	▲ 53.3	▲ 22.8	▲ 29.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 6.1	▲ 12.8	21.4	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 23.4	▲ 15.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 16.8	▲ 20.0	0.4	▲ 25.1	▲ 27.6	▲ 12.2	▲ 22.6	▲ 35.7
医 療 ・ 福 祉	2.6	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 3.3	▲ 17.2	▲ 16.8	▲ 10.7	▲ 27.7
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 29.1	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 42.6	▲ 51.4	▲ 41.1	▲ 51.1	▲ 52.1
合 計	▲ 14.1	▲ 18.5	▲ 5.8	▲ 23.3	▲ 28.9	▲ 18.9	▲ 30.1	▲ 32.9

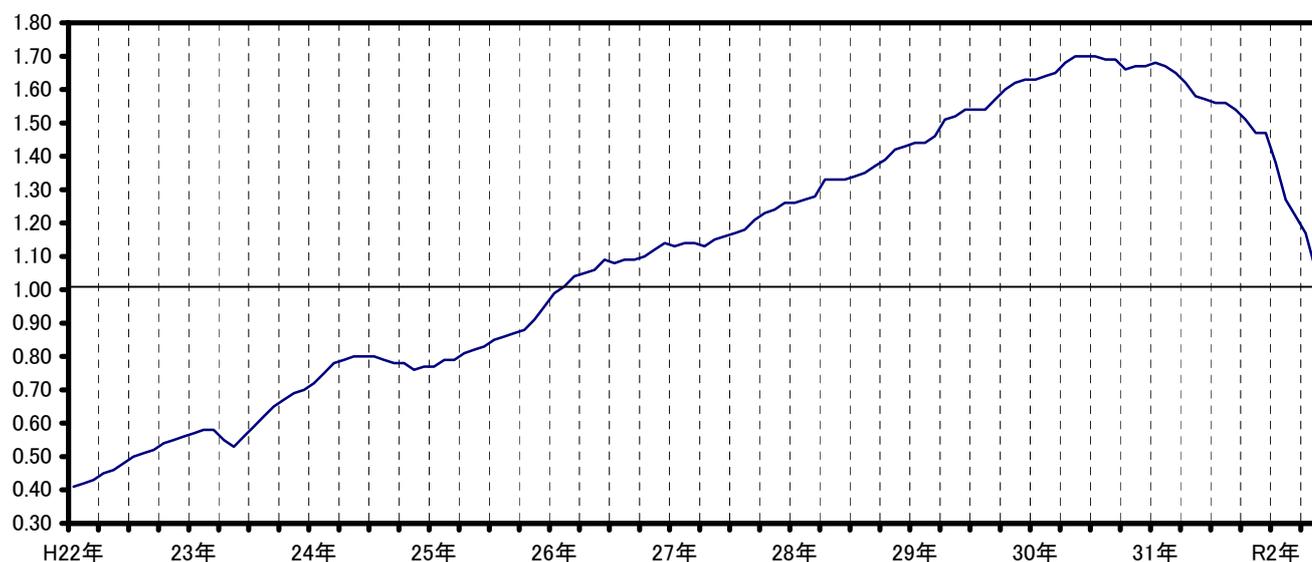
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

5月 = 11,648人

*前月比: 17.9%増

*前年同月比: 8.0%増

<概況>

5月の雇用保険受給者実人員は11,648人で、前月比は17.9%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は8.0%増と9か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.9%と前月から0.3ポイント悪化した。

静岡県(令和2年1月~3月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和元年10月~12月)と同水準だった。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
実人員(人)	11,551	10,895	10,675	10,717	10,142	10,192	9,880	11,648
前月比(%)	0.2	▲5.7	▲2.0	0.4	▲5.4	0.5	▲3.1	17.9
前年同月比(%)	6.1	6.9	11.5	8.0	6.5	7.7	1.6	8.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	1.5	8.1	6.2	3.6	6.7	1.0	3.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.2	2.2	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9

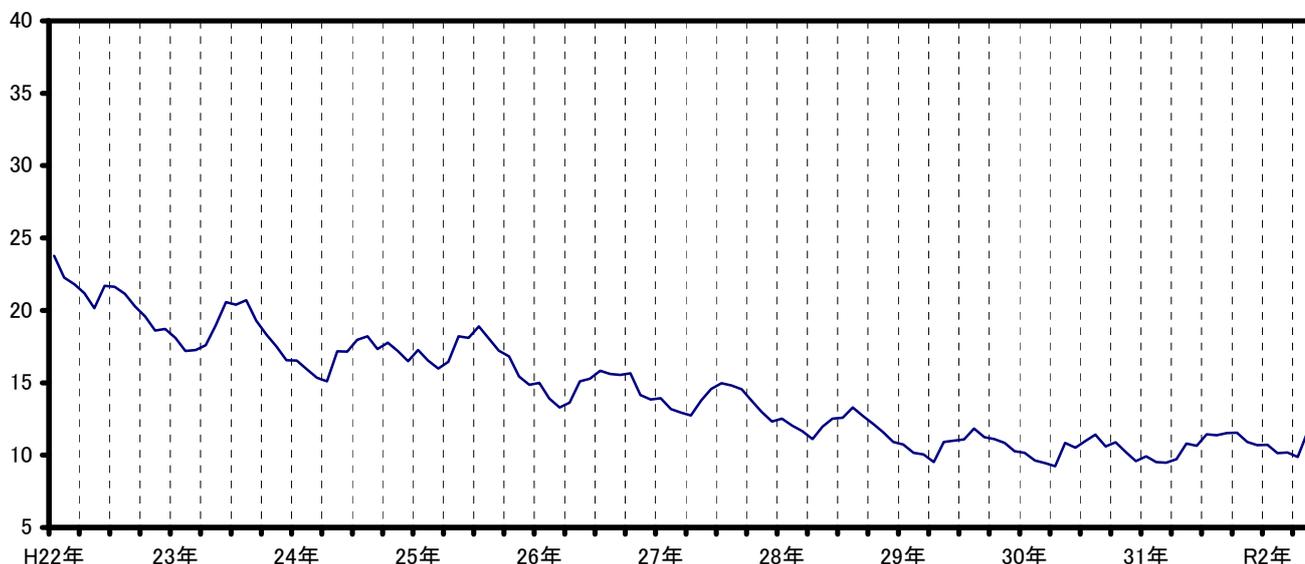
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

4月 = 71.6

*前月比(季節調整済指数): 20.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 22.3%減

<概況>

4月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は71.6(季節調整済指数)で、前月比20.4%減となった。また、前年同月比(原指数)は22.3%減と15か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比39.8%増)が11か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同30.1%減)が18か月連続、情報通信業(同36.1%減)が5か月連続、運輸業・郵便業(同26.9%減)、医療・福祉(同1.4%減)がいずれも6か月連続、卸売業・小売業(同12.5%減)が2か月ぶり、その他のサービス業(同10.5%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
指数	87.6	85.1	81.8	84.4	90.8	88.1	89.9	71.6
前月比(%)	▲3.6	▲2.9	▲3.9	3.2	7.6	▲3.0	2.0	▲20.4
前年同月比(%)	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	▲2.3	▲3.8	▲3.9	▲2.5	▲3.2	▲7.1	▲19.1

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月
建設業	177.0	152.7	159.7	178.9	73.3	113.8	96.1	39.8
製造業	▲16.7	▲19.8	▲21.3	▲16.2	▲9.6	▲11.5	▲7.1	▲30.1
情報通信業	12.4	▲6.7	1.2	▲8.3	▲24.4	▲20.9	▲20.6	▲36.1
運輸業・郵便業	3.3	3.5	▲2.2	▲1.8	▲11.9	▲9.3	▲14.0	▲26.9
卸売業・小売業	15.2	21.9	5.3	11.8	3.9	▲1.3	13.9	▲12.5
医療・福祉	23.5	0.0	▲20.5	▲1.7	▲1.4	▲14.6	▲11.9	▲1.4
その他のサービス業	6.3	▲5.7	0.0	▲6.7	▲6.5	▲7.4	0.0	▲10.5
調査産業計	▲3.8	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3

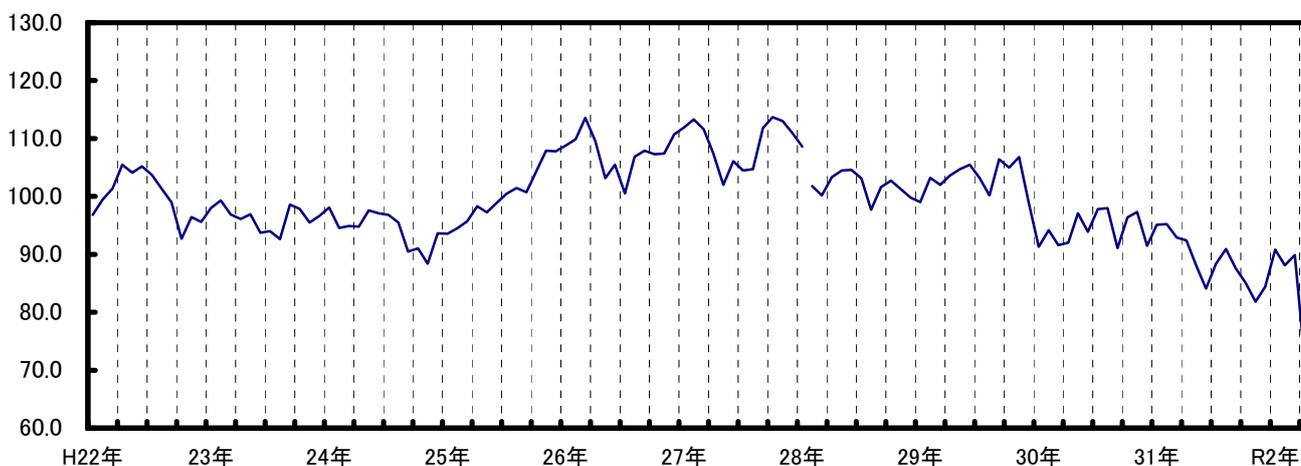
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

6 月 = 99.6

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.6%上昇

*前年同月比: 1.6%下落

<概 況>

6月の国内企業物価指数は99.6となり、前月を0.6%の上昇となった。また、前年同月比は1.6%の下落となった。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国内企業物価指数	102.1	102.3	102.4	101.9	101.0	99.5	99.0	99.6
前 月 比 (%)	0.1	0.2	0.1	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 0.5	0.6
前年同月比 (%)	0.1	0.9	1.5	0.7	▲ 0.5	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 1.6

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

5 月 = 142,636億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 3.1%増

*前年同月比: 5.4%増

<概 況>

5月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,636億円で、前月比は3.1%の増加となった。また、前年同月比は5.4%の増加となった。

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
貸出残高(億円)	134,978	135,303	136,220	136,481	136,721	137,249	138,387	142,636
前 月 比 (%)	▲ 0.9	0.2	0.7	0.2	0.2	0.4	0.8	3.1
前年同月比 (%)	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.8	1.7	5.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

5 月 = 1.710%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.013ポイント減

*前年同月差: 0.123ポイント減

<概 況>

5月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.710%で、前月から0.013ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.123ポイントのマイナスとなった。

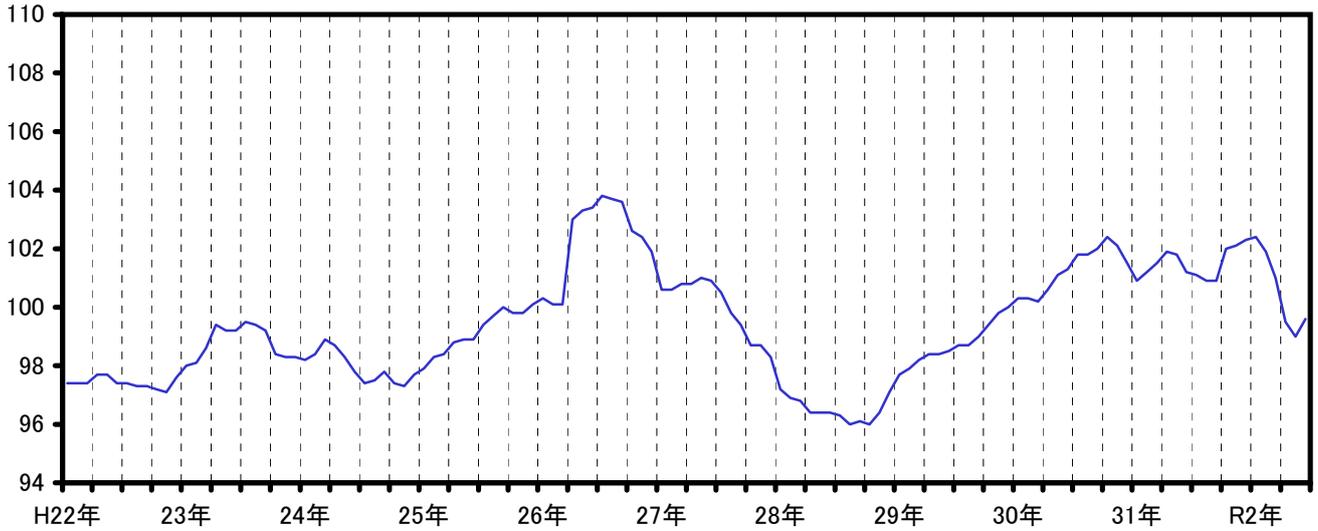
	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
貸出約定金利(%)	1.770	1.758	1.739	1.769	1.761	1.740	1.723	1.710
前月差(ポイント)	▲ 0.003	▲ 0.012	▲ 0.019	0.030	▲ 0.008	▲ 0.021	▲ 0.017	▲ 0.013
前年同月差(ポイント)	▲ 0.200	▲ 0.194	▲ 0.186	▲ 0.151	▲ 0.148	▲ 0.145	▲ 0.117	▲ 0.123

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

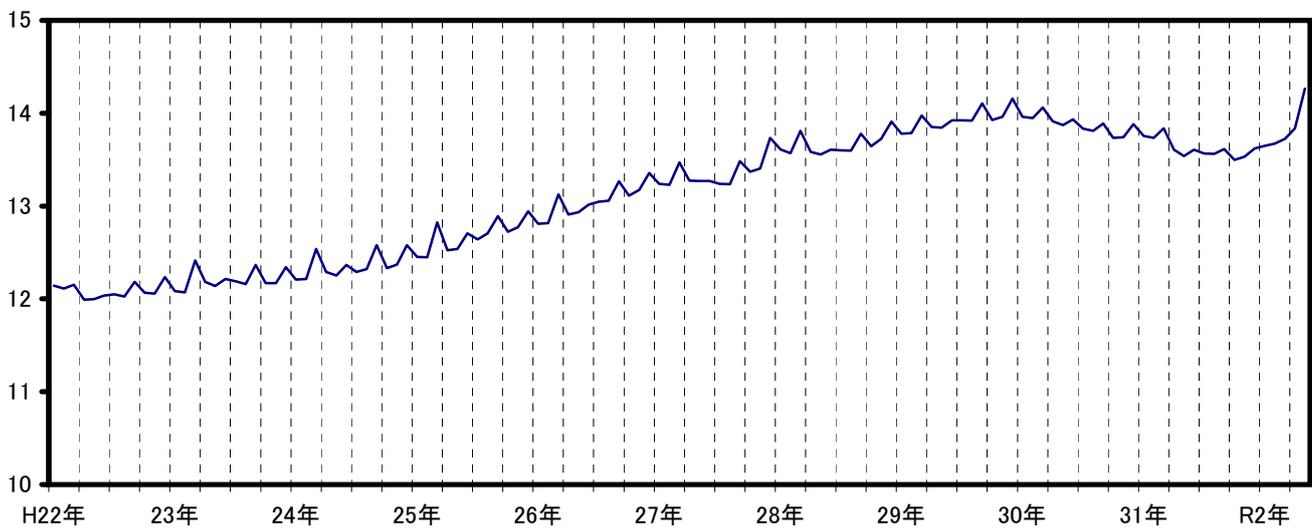
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



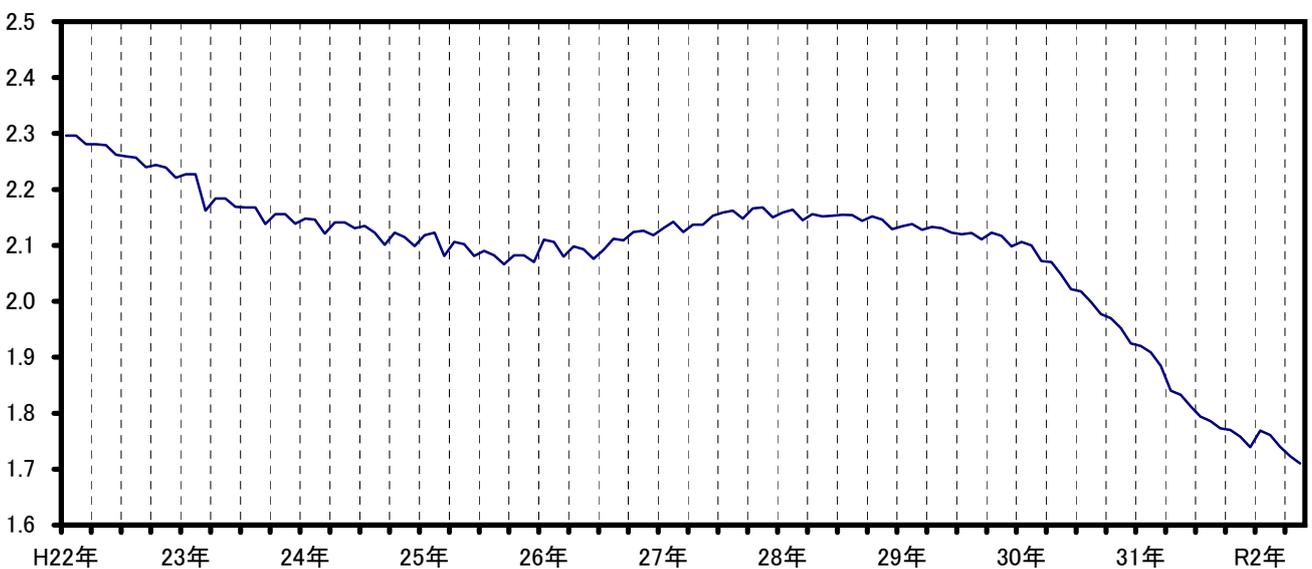
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**5 月 = 172,545百万円**

*前年同月比：1345.9%増

<概況>

5月の保証承諾は、金額は172,545百万円（前年同月比1345.9%増）、件数は8,566件（同609.2%増）と、いずれも3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
保証金額（百万円）	17,473	20,407	20,126	13,977	14,832	28,818	132,181	172,545
前年同月比（%）	8.4	14.8	2.9	9.9	▲7.4	49.6	1,178.7	1,345.9
保証件数（件）	1,801	2,011	2,028	1,416	1,550	2,582	6,152	8,566
前年同月比（%）	6.4	15.3	7.4	5.7	▲2.7	34.0	459.4	609.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**6 月 = 107.56円/ドル**

*前月差：0.25円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差：0.50円高

<概況>

6月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は107.56円で、前月と比べて0.25円の円安となり、2か月ぶりに円安となった。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均相場（円）	108.86	109.18	109.34	109.96	107.29	107.93	107.31	107.56
前月差（円）	0.74	0.32	0.16	0.62	▲2.67	0.64	▲0.62	0.25
前年同月差（円）	▲4.51	▲3.27	0.39	▲0.40	▲3.92	▲3.73	▲2.52	▲0.50

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****6 月 = 32件**

*前年同月比：128.5%増

<概況>

6月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は32件（前年同月比128.5%増）と、前年実績を上回り、負債総額は2,398百万円（同24.8%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が29件と全体の90.6%を占め、271か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

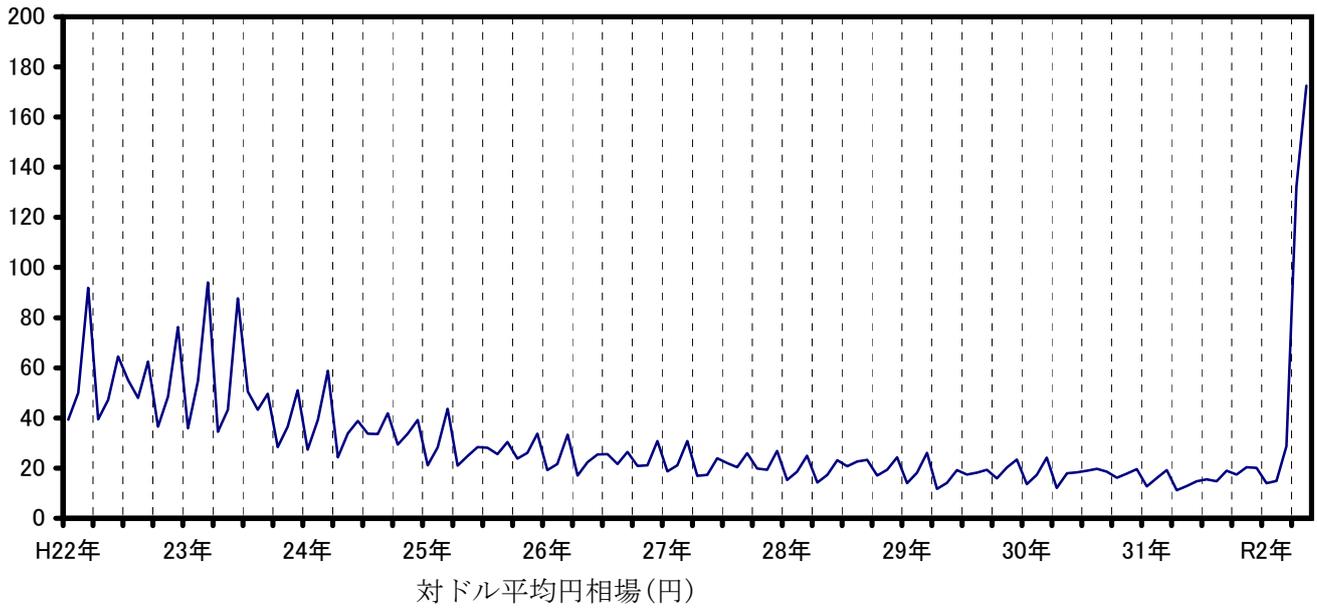
	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
倒産件数（件）	23	12	18	11	18	24	11	32
前年同月比（%）	35.2	▲29.4	20.0	▲8.3	50.0	41.1	▲35.2	128.5
うち不況型倒産件数（件）	22	10	14	11	17	21	9	29
負債総額（百万円）	2,905	41,289	5,945	1,448	2,270	7,493	1,669	2,398
前年同月比（%）	29.8	1,558.8	381.3	▲3.1	▲47.5	191.3	▲9.6	▲24.8

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

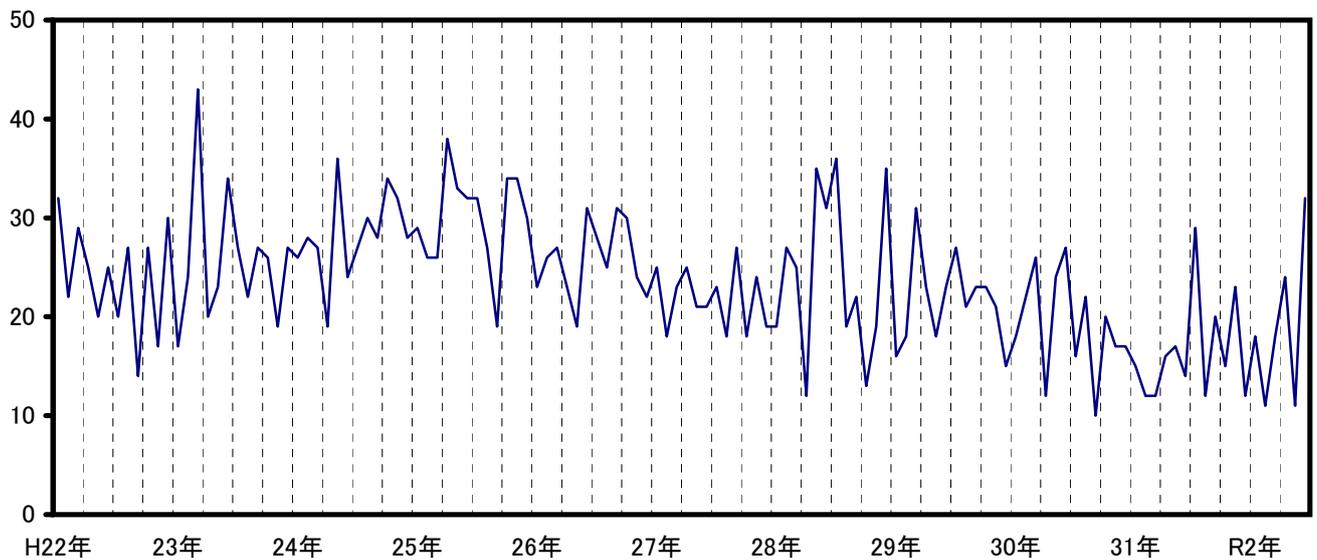
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和2年5月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>4月の国内二輪車生産台数は、35,823台（前年同月比 10.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,975台（同 16.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,629台（同 21.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,554台（同 1.6%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、17,665台（同 21.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,573台（同 9.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、15,380台（同 46.7%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>4月の自動車国内生産台数は、438,770台（前年同月比 46.1%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。輸出は193,602台（同 54.2%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が7か月連続、トラックが9か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>5月の冷蔵庫の国内出荷額は290億円（前年同月比 11.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は247千台（同 12.7%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>5月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは947千台（同 12.1%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。業務用は57千台（同 33.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>5月の携帯電話の国内出荷台数は、1,090千台（同 0.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、872千台（同 35.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は80.0%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>5月の工作機械の受注総額は、512億3,900万円（前年同月比 52.8%減）と、20か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は330億4,700万円（同 49.8%減）と、20か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが186億6,400万円（同 33.9%減）と、24か月連続で前年実績を下回った。内需は181億9,200万円（同 57.4%減）と、18か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「新型コロナウイルスの影響で親会社の受注減少に伴い仕事量が減少しており、中長期的減産予測をせざるを得ない。」という声や「設備の一部稼働停止、出勤調整等が出始めている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>5月の県内楽器メーカーの販売金額は、25億4,520万円（前年同月比52.4%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。内訳は、輸出向けが12億7,460万円（同52.7%減）と、国内向けが12億7,061万円（同52.1%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は1,261台（同58.5%減）だった。機種別では、アップライトピアノが855台（同57.2%減）、グランドピアノ406台（同61.1%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,142台（同48.8%減）、国内向けが435台（同63.6%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>5月の紙・板紙の国内出荷高は、1,560千トン（前年同月比19.0%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は766千トン（同25.0%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。板紙は794千トン（同12.3%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、377千トン（同33.2%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、137千トン（同7.9%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>5月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,113千箱（前年同月比25.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は775千箱（同29.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は627千箱（同40.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は338千箱（同16.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,986千箱（同13.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>5月の広幅織物の県内生産は、755千㎡（前年同月比37.4%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、707千㎡（同35.1%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、49千㎡（同58.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同32.8%減）と、26か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>5月の全国百貨店での家具販売額は、23億2,391万円（前年同月比51.0%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、606億451万円（同4.9%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>5月の県内百貨店・スーパーの販売額は、34,484百万円（既存店前年同月比4.8%減）と、前年実績を下回った。品目別では、飲食料品を除く全ての品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）で、前年同月を下回り、特に、衣料品、身の回り品、食堂・喫茶の減少幅が大きかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、5月中旬まで、食品売場以外を休業としたほか、営業を再開した後も、営業時間を短縮し、全ての催事も中止とした影響等で、売上げ、来客数ともに、前年同月を大きく下回った。</p> <p>西部の専門店への聞き取りにおいても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月中旬まで、全館を休業したことにより、売上げ、来客数ともに、前年実績と比較して、大きく減少した。一方で、営業再開後は、屋内で快適に過ごすための家電や生活雑貨といった比較的単価が高い商品の売上げが好調で、営業再開後の客単価は、前年実績と比較して、増加した。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、消費者の外出自粛により、ゴールデンウィークにおける観光客の需要がなくなった影響で、売上げと来客数は前年同月を下回った。一方で、まとめ買いをする消費者が増えたことにより、客単価は前年同月を上回った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4月の落ち込みが激しかった百貨店、専門店の売上げについて、5月14日の緊急事態宣言の解除後は、戻りつつあるものの、5月全体としては、厳しい数字となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>5月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約2万人と、前年同月比96.7%減だった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国の緊急事態宣言を受け、5月中は5施設が全日休業するなど、全ての施設で入込客数は前年同月を下回った。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約32万台となり、前年同月比58.5%減だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が9月28日から無料化されたことに伴い、10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
完成車生産台数(台)	24,634	25,844	26,437	24,281	26,140	25,984	20,626	18,471	4,821
前年同月比(%)	14.8	▲ 11.7	0.9	▲ 1.1	7.6	3.1	▲ 5.6	▲ 2.3	▲ 74.0
KD輸出額(百万円)	1,020	1,233	1,576	1,544	1,278	1,559	1,524	1,082	32
前年同月比(%)	43.9	58.2	112.2	104.9	67.1	91.1	91.8	25.4	▲ 97.2

<楽器>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
生産総額(百万円)	3,000	3,283	3,211	3,099	3,062	2,707	3,166	1,997	1,130
前年同月比(%)	8.4	▲ 5.6	▲ 4.1	5.0	8.9	▲ 10.7	0.5	▲ 39.6	▲ 64.6

<缶詰>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
食缶生産高(千ケース)	937	1,036	1,110	993	873	842	1,006	1,173	1,113
前年同月比(%)	▲ 0.6	▲ 0.7	7.3	4.7	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 0.2	17.2	25.0
うち水産缶詰(%)	▲ 6.6	▲ 5.9	2.8	▲ 1.8	▲ 16.9	▲ 8.3	1.2	18.5	29.1
農畜産缶詰(%)	14.9	11.7	17.9	19.8	23.9	0.2	▲ 2.8	14.4	16.6
飲料缶生産高(千ケース)	6,904	6,575	7,153	5,910	4,888	6,002	8,263	7,742	6,986
前年同月比(%)	1.9	▲ 4.5	2.1	▲ 3.7	5.1	8.1	6.9	▲ 0.0	▲ 13.1

<繊維>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
広幅織物(千㎡)	1,307	1,370	1,530	1,381	1,302	1,216	1,164	1,028	755
前年同月比(%)	▲ 2.7	▲ 8.4	▲ 11.0	▲ 15.7	▲ 15.0	▲ 12.7	▲ 14.3	▲ 19.6	▲ 37.4
小幅織物(千㎡)	23	26	26	25	25	24	22	20	17
前年同月比(%)	▲ 16.5	▲ 10.8	▲ 14.3	▲ 16.6	▲ 14.2	▲ 13.7	▲ 16.4	▲ 25.5	▲ 32.8

<観光>

	R元年9月	10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
観光施設(10施設)入込 (千人)	371	313	382	264	313	301	345	131	21
前年同月比(%)	4.7	▲ 15.9	▲ 2.9	▲ 6.7	2.3	8.2	▲ 28.2	▲ 76.5	▲ 96.7
有料道路(4路線 [※])通行量 (千台)	714	495	556	564	512	556	532	318	315
前年同月比(%)	5.8	▲ 9.4	▲ 1.8	0.7	▲ 1.2	8.4	▲ 13.3	▲ 55.8	▲ 58.5

※令和元年9月までは5路線、令和元年10月以降は4路線

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年7月号 通巻531号

発行 静岡県経済産業部
令和2年7月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>